

利根組通信



学級通信 No.6
令和2年11月26日 発行



2大行事を終えて…

創立記念祭

今年の創立記念祭は、祝賀式と運動の部の二部構成で開催されました。

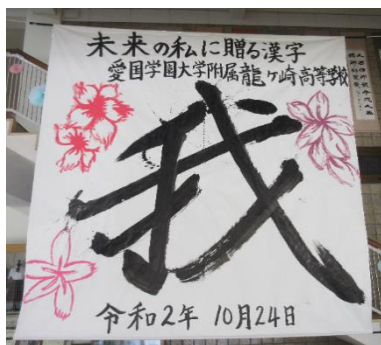
祝賀式では、厳粛な式典の後、「学園のあゆみ」と「愛龍ヒストリー」を映像とナレーションを通して歴史を振り返り、最後に書道パフォーマンスを行いました。生徒一人ひとりが、愛龍高56年の、学園 80 余年

の歴史とこれからの未来に向けた学園への想いをより強く感じた時間となりました。総合司会のAさん、映像編集担当のTさん、Yさん・ナレーション担当のKさん、Hさん・書道パフォーマンスのSさんNさんYさんお疲れさまでした。

運動の部では、お揃いのクラスTシャツを着て心をひとつに4種目の競技に参加しました。2年生の時は惜しくもあと一步で総合優勝することができませんでしたが、選手宣誓をしたMさんの「コロナにも負けず、最後まで楽しむことを誓います」を有言実行しクラスが一丸となって取り組んだ良い結果となりました。練習中はどうなることかと心配になる場面もありましたが、競技最終クライマックスのクラス対抗リレーでは、力の限りクラスのために頑張っている友人に涙ぐみながらエールと拍手を送っている姿に、とても胸が熱くなりました。「やったね！さすが利根組！最高！！」

創立記念祭 総合優勝

- クラス対抗リレー優勝
- 大縄8の字跳び 1位
- ドッジボール3位
- テコとボール2位



陶芸体験

文化祭の代替案として11月21日(土)に、笠間窯元「大津晃窯」様をお招きして、全校で陶芸を体験しました。1人2作品を、ものづくりの楽しさを味わいながら制作しました。素焼→色付け→本焼と、2カ月後に窯元から作品が戻ってくるのが待ち遠しいです。



芸術の秋

3年間の書道の集大成として掛け軸(希望者)を制作しました。書道部のNさんとSさんの作品は茨城県芸術文化祭(11月13日~17日 水戸ヒロサワシティホール)に出展されました。



食欲の秋!? (大根・秋ジャガイモ)



総合の時間、残暑の中で種まきして約2か月半、土の中ですくすく生育した大根を「どうやって引っ張るの?」「わあ~抜けた~!」ジャガイモでは、「芋ほりだー」「じゃがバターにしよう」と和気あいあい楽しい収穫となりました。各家庭で調理した料理は、写真を(記録)撮り、後でレポートにまとめられるように備えておきましょう。



百万一心 “この言葉を崩すと「一日一カ一心」と読める。つまり日を同じくし力を同じくし心を同じくして皆で力を合わせれば、何事もないうるということだ。毛利元就(もとなり)が吉田郡山城の普請で、娘を人柱にする代わりにこの言葉を石碑に書いたとされ、以後、元就の指針となった。一日一日を、一人ひとりが心を合わせて事を行う。気遣いの人、元就らしい言葉であり、たった四文字で、心が一つになる。

備えよ！ 期末試験

12月5日(土)

~9日(水)